

産経新聞 2020年10月19日 「ひこばえ倶楽部」への投稿掲載

(令和2年度入学) 高校1年 (六か年コース) D組 田中寿明 君

夏休みになるといつも見ていた夏の甲子園大会が中止になり、家の外から聞こえていた「ふとん太鼓」の祭りばやしも、一度も聞くことがありませんでした。新型コロナウイルスの影響を、より強く感じました。

今年のような夏が、将来は当たり前になっているのではと心配になります。

夏の甲子園中止に伴い、各都道府県で代替大会が行われ、さらにセンバツ交流試合が開催されました。

祭りや花火大会、旅行なども、ネット中継やVR（仮想現実）で済ませるようなことになっていくのかもしれませんが。インターネットの普及で暑中見舞いなど手書きの挨拶状が減り、お中元を贈る習慣も、世代の高齢化で減っているといえます。風物詩は、季節のうつろいを感じさせてくれます。失われつつある風物詩に関心を寄せて、つないでいければと思います。